

ひろしま

# 広島市街地の高潮対策事業

事業費

河川直轄1,244百万円

※太田川水系全体

港湾直轄1,917百万円

## 河-13 港-7

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

○災害の防止・軽減

**事業推進**

ゼロメートル地帯の広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、既存の堤防等が沈下・崩壊する可能性があります。満潮時には河川水や海水が市街地へ流入し、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

このため、広島市街地を高潮被害から防御することを目的として、高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、市・県・国の河川事業と海岸事業が連携して高潮対策事業を推進しています。



凡例:

河川直轄整備区間



河川補助計画区間



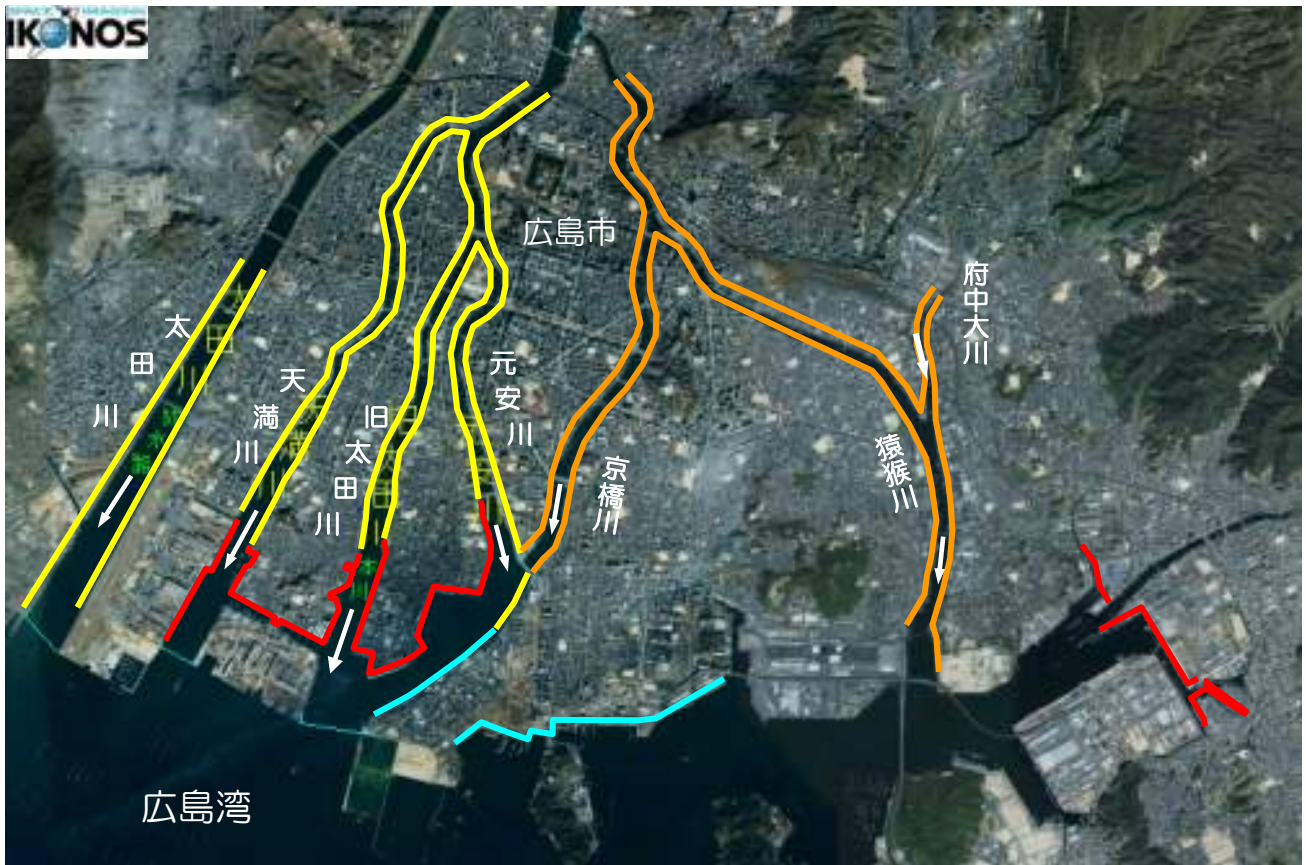
海岸直轄計画区間



海岸補助計画区間



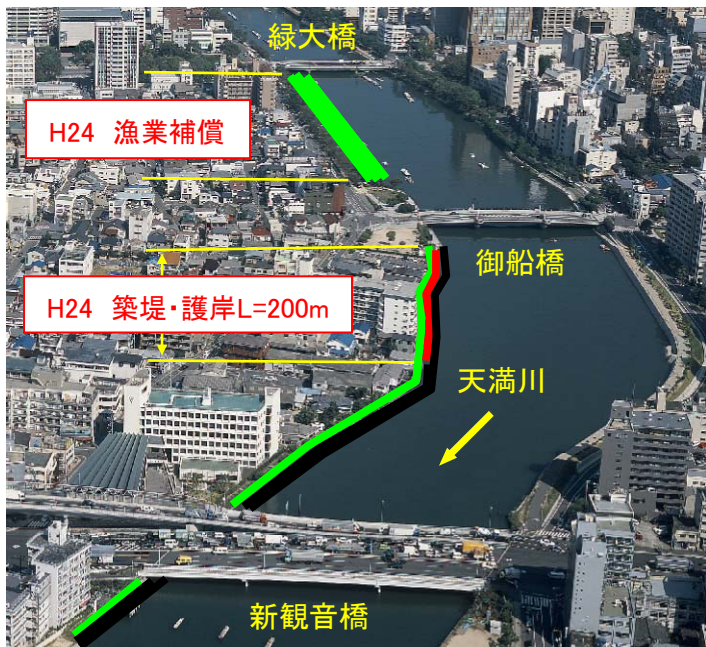
注)河川・海岸補助は、社会資本整備総合交付金へ移行





## 河川事業区間について

広島市街地は、平成3年、平成11年、平成16年（観測史上最高潮位T.P.+2.96mを記録）に高潮被害が発生しているため、計画高潮位（T.P.+4.40m）対応の高潮堤防の整備を推進します。  
平成24年度は、天満川の観音箇所において、引き続き高潮堤防の整備を実施します。



★高潮堤防の整備事例(元安川出島地区)



H3.9 高潮被害

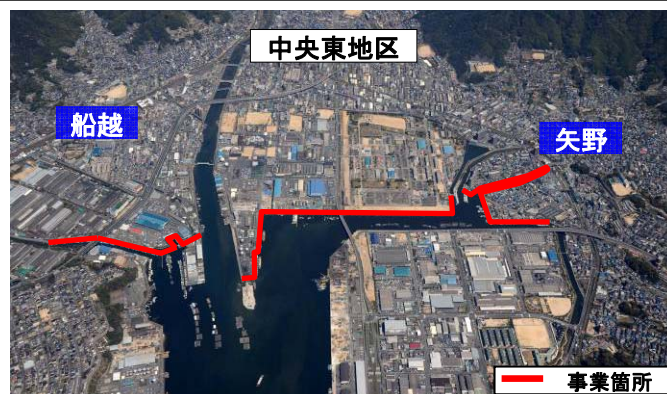


H16.9天満川観音地区での水防活動

## 海岸事業区間について

広島市街地は、平成16年の台風等、過去数次に渡り高潮被害を受けております。また、今後の50年間で9割以上の確率での発生が予測されている東南海・南海地震への対策も進める必要があります。また、平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、海岸事業の重要性がより一層高まっているところです。

海岸事業区間については、平成23年度整備完了の中央西地区（観音）に続いて、中央西地区（江波、吉島）等において、高潮対策及び大規模地震による液状化・津波対策に係る事業を実施します。



### 期待される整備効果

- 河川・港湾海岸が一体的に高潮対策を実施することで、広島市街地に甚大な浸水被害をもたらした、平成16年高潮が再び発生した場合にも浸水被害の防止・軽減を図ることができます。
- 大規模地震による液状化及び津波から市民の生命と資産を守り、誰もが安全に安心して暮らせる地域が実現します。